

県産絹使い時計バンド

前橋国際大の学生グループ考案

産学連携授業で商品化

1日発売

共愛学園前橋国際大の学生グループが運営するインターネット上の仮想企業「繭美蚕」は、産学連携授業を契機に県産絹を使用したシルクウオッチバンドを商品化、協力先の門倉メリヤス（前橋市日吉町）の直営店ウイオレッタ（同）で三月一日から販売を始める。



前橋国際大の学生が考案したシルクウオッチバンド（上）と使用例（下）

繭美蚕は、企業経営を体験する教育プログラムの一環。二〇〇五年にインターネット上に設立された。

シルクウオッチバンドは、県産シルクを利用したリストバンド状の商品で、腕時計に巻き付けて使用する。シルクの生地

が汗を吸い取るため、長時間の時計着用でも手首

がべとつかないという。黒や紫など四色。男性、女性用があり、価格は千二百円。「繭美蚕」ブランドは昨年一月から商品展開しており、これまでにレックウオーマー、アームカバを発売。今回の商品

は第三弾。販売目標は百個。第七回群馬の絹展（三月五日、県庁）に展示するほか、前橋市で三月三十日に開かれる前橋中心商店街ツナガリズム祭りでも販売する。